

様式第 2 号（第 9 条関係）

会議録

会議の名称		第 1 回ふじみ野市指定管理者選定委員会			
開催日時		令和 2 年 6 月 3 0 日（火） 開会時刻 午後 1 時 4 0 分 閉会時刻 午後 4 時 2 0 分			
開催場所		市役所 本庁舎 3 階 A 3 0 2 会議室			
出席した者の氏名		役職名	氏名	役職名	氏名
		委員長	山崎 正美	施設所管課	相馬 悠紀
		副委員長	金子 明	〃	渡邊 徹
		委員	長岡 勝美	〃	増村 規子
		〃	米村 芳一	〃	仲野 公堅
		〃	伊藤 裕夫	〃	皆川 友豪
		〃	浦谷 健二	〃	土屋 範久
		〃	小栗 俊之	〃	齊藤 隆之
		〃	篠澤眞由美	〃	関根 寛之
		施設所管課	吉村 敏世	〃	木村 淳
		〃	金子 一也	〃	坂寄 絵理
		〃	村田 頼信	〃	斑目 圭介
		会議の議題		(1) 会議の公開・非公開について (2) 委員長・副委員長の選出 (3) 審査対象施設について (4) 選定委員会のスケジュールについて (5) 選定審査の方法について (6) 募集要項及び選定基準の確認（産業文化センター） (7) 前年度モニタリング・評価 (8) 募集要項及び選定基準の確認（児童センター）	
会議の公開又は非公開の別		一部非公開			
会議の非公開の理由		ふじみ野市審議会等の会議の公開に関する規則第 4 条第 1 号及び同規則第 4 条第 2 号			
傍聴人の数		0 人			
会議内容		別紙のとおり			
事務局		総合政策部 経営戦略室			
議事の確定	確定年月日	令和 2 年 7 月 8 日			
	記名押印	役職名 委員長 山崎 正美 ㊟			

別紙

会議内容

1. 会議の公開・非公開について

(事務局)

ふじみ野市審議会等の会議の公開に関する規則の規定に基づき、第1回目は一部非公開、第2回目以降は非公開に該当すると考えられる旨を説明。

⇒異議なし

2. 委員長・副委員長の選出

⇒山崎委員を委員長、金子委員を副委員長に選出

3. 委員長挨拶（省略）

4. 審査対象施設

○ふじみ野市立産業文化センター

指定期間：令和3年4月1日～令和7年3月31日（4年間）

○ふじみ野市立児童センター

指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）

5. 選定スケジュールについて 事務局（概要説明）

6. 選定審査の方法について 事務局（概要説明）

⇒最低基準（案）について異議なし

7. 協議事項

※ふじみ野市審議会等の会議の公開に関する規則第4条第1号及び同規則第4条第2号により非公開とする。

■産業文化センター 文化・スポーツ振興課（概要説明）

8. 前年度モニタリング・評価

昨年度からの変更点について 事務局（概要説明）

■ふじみ野市立市民交流プラザ及びコスモスホール 協働推進課（概要等説明）
＜質問事項等＞

○「3施設の有効活用」における自主事業の実施事業の中に、「SNS活用による情報発信」とあり、令和2年度中に実施予定となっている。内容について教えてほしい。

⇒指定管理者で内容を検討しているところであるため、未実施となっている。

○「7危機管理体制」において、評価が「4」となっているが、危機管理に係

る研修等については、実施しているのか。「4」を付けるための根拠が薄い
ため、特記事項に実際実施している具体的な内容を加筆する必要があるの
ではないか。

⇒危機管理に係る研修等及び具体的な内容について確認する。

○「5事業収支」について、平成29年度までのモニタリングシートでは、「
現場管理費」と「一般管理費」に分かれているが、平成30年度以降は、「
現場管理費」の項目がなくなっている理由は何か。

⇒二つの項目の区分が不明瞭であったため、事務局で書式を「一般管理費」
に統一した。

■ふじみ野市立介護予防センター 高齢福祉課（概要等説明）

<質問事項等>

○「5事業収支」における自主事業の規模が計画値と比べると小さくなっ
ている。担当課としては、提案時と同様な事業を実施したという認識なの
か。

⇒当初の提案と比較すると、収入が見込めなかったが、市が期待した通
りの内容を実施している。

○委託料が計画値よりも上がっているが、内訳は何か。

⇒専門性の高い外部講師の派遣を当初の計画よりも増やしたためである。

○「指定管理者自己評価」において、次年度以降の課題で記述されている
が、引き続き、自主グループ結成の促進を強化してほしい。

■ふじみ野市立放課後児童クラブ 子育て支援課（概要等説明）

<質問事項等>

○東西共に児童数が増加しているが、「3施設の有効活用」において、平均
在籍児童数が予定よりも利用実績が少ないのはなぜか。

⇒確認する。

○「5事業収支」の評価は東西共に「3」となっているが、西の収支が830
万円、東の収支が197万円であり差が出ている中でなぜ同じ評価なのか。
また、その要因の一つに、本社経費の計上の差があるのではないかと考
えるがどうか。

⇒東については、初年度ということもあり、必要経費が掛かっている。ま
た、西はNPO法人が運営し、本市の児童クラブのみで運営している。一方、
東は他市でも指定管理事業を展開している企業であることから、本社経費
の差が生じていると認識している。

○朝の保育料と延長保育料は、どの経費項目に含まれているのか。

⇒自主事業収支に含まれている

○東西の総合評価が同じとなっている一方、民間企業が放課後児童クラブ
を運営することで、全体的にどこが大きく違うと認識しているのか。

⇒民間企業は、スケールメリットを活かした運営が可能であると考えてい
る。

3月の新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う、小学校臨時休業の際に、放課後児童クラブを朝から開室していたが、その期間において人手不足が懸念されたが、東の児童クラブは、新型コロナウイルスの影響で休止した事業の職員を活用することにより、自前で人手を賄うことができるなど、柔軟な対応が可能であった。

9. 協議事項

※ふじみ野市審議会等の会議の公開に関する規則第4条第1号及び同規則第4条第2号により非公開とする。

■児童センター 子育て支援課（概要説明）

10. 閉会